

第33回 日本臨床薬理学会学術総会特集・記録 目次

特集

「治験のあとが大切 製造販売後の薬剤の有効性と安全性をどう評価するか？」

1. 薬剤性有害事象の臨床疫学……………森 本 剛…325
2. 冠動脈血行再建後のレジストリーにおける薬剤の有効性・安全性の評価……………夏秋 政浩ほか…329
3. 製造販売後における循環器官用剤の安全性および有効性評価……………佐藤 玲子…334
4. 患者レジストリに基づいた治療法の効果比較研究 (Comparative Effectiveness Research)……………植田 真一郎…335

記録

シンポジウム 5：医療現場で有用な市販後情報の提供と利用……………(座長)野元正弘, 松田 勉
座長のまとめ……………野元 正弘ほか…339

1. 医薬品リスク管理計画について……………渡邊 伸一…341
2. 医療現場で有用な市販後情報の提供と利用 —内科医の立場から—……………望月 秀樹…343
3. 市販後情報提供の問題点 ～主として添付文書について～……………荒木 博陽…345
4. 医療現場で有用な市販後情報の収集と提供……………甲斐 靖彦ほか…347

シンポジウム 11：病態時の薬物動態試験について……………(座長)松本直樹, 丸山由起子
座長のまとめ……………丸山由起子ほか…349

1. 大学病院における病態時薬物動態試験の実施体制……………山下梨沙子ほか…351
2. 病態時の薬物動態試験実施における問題点と課題 —医療機関からの提言—……………原田 和博…353
3. Phase I 専門施設における患者 PK/PD 試験……………内丸比奈子ほか…355
4. 病態時の PK/PD 試験を推進するために日本の医療機関に求めること……………松井 伸吾…357

シンポジウム 19：薬学的管理が必要な個別化医療……………(座長)松原和夫, 宇野 司
座長のまとめ……………伊東 弘樹…359

1. 個別化医療の処方設計……………伊東 弘樹…359
2. 個別化薬物治療における遺伝子解析および TDM の応用……………中村 智徳ほか…361
3. 副作用モニタリング……………中村 敏明ほか…363
4. 現場から臨床薬理学に望むこと……………橋田 亨…365

シンポジウム 20：我が国の早期臨床試験が国際的に認められるために……………(座長)梅村和夫, 中野真子
座長のまとめ……………中野 真子ほか…367

1. FIH 試験：グローバル同時開発に対応するには……………梅村 和夫…369
2. POC 試験：後期臨床試験を成功させるために……………野元 正弘…371
3. 患者 Phase 1 試験：実施の課題……………白源 正成ほか…373
4. 抗がん剤の FIH (First-in-Human) 試験：国際競争力を示すには？……………藤原 康弘…375
5. 早期臨床試験の推進：厚生労働省の立場から……………山田 雅信…377